

02 商工業・観光



「かのやばら園」
グランドオープン



平成 18 年
(2006 年)

4,000種5万株のバラのほか、温室やガーデンステーションなどが新たに整備され、これまでの約3倍の規模に生まれ変わった「かのやばら園」がグランドオープンしました。



毎年、市内外から多くの人を訪れる「エアームモリアル in かのや」が初めて開催されたほか、100万本のバラが咲く「かのやばら園」、美しい星空を眺望できる「輝北天球館」など多くの観光施設がオープンしました。また、中心市街地活性化の核施設となる「リナシティかのや」がオープンするなど、鹿屋の商工業・観光が大きく変遷した30年でした。



「エアームモリアル 40インかのや」開催

平成6年

海上自衛隊鹿屋航空基地開隊40周年記念イベントとして「エアームモリアル 40インかのや」が開催されました。ブルーインパルスなどの航空ショーやランウェイマラソンが行われ、約13万人の人出でにぎわいました。





「リナシティかのや」 オープン

平成19年

市民が学び、楽しめる新しい施設として、「リナシティかのや」がオープンしました。先に行われたオープンセレモニーでは新しい施設を楽しもうと、家族連れなど大勢の市民でにぎわいました。

「食と暮らしの マルクト@おおすみ」 初開催

平成27年

大隅のこだわり食材や雑貨等の作り手が一堂に集まって毎月開く定期市「食と暮らしのマルクト@おおすみ」が初開催され、多くの来場者でにぎわいました。



人気ボーカルユニット 「C&K」が2市を繋ぐ

平成29年

霧島ヶ丘公園で、人気ボーカルユニット「C&K」のライブが行われ、約15,000人のファンが熱狂しました。同時に2人の出身地である鹿屋市と栃木県小山市が連携協定を結びました。



年表で見る 商工業・観光

平成元年

- 3 鹿児島部品株式会社と立地協定を締結(吾平町)

平成二年

- 6 三和ベルデイ株式会社と立地協定を締結

平成三年

- 1 日本モレックス株式会社と立地協定を締結

- 5 鳴之尾牧場で映画「おいしい結婚」の撮影

- 5 ひらぼうほたるの里「ホテルを見る夕べ」初開催(輝北町)

平成四年

- 8 黒羽子観光農園事業開始(吾平町)

- 12 輝北町が4季連続で星空日本一に輝く

平成五年

- 4 「吾平町物産館」オープン

- 4 霧島ヶ丘公園内に「かのやばら園」開園(1ha・500種・6,300株)

- 6 「鹿屋市観光物産総合センター」オープン

- 7 「鹿屋航空基地史料館」オープン



平成4年(1992年)

輝北町 4季連続星空日本一

輝北町が4季連続で星空日本一に輝きました。昭和63年から環境庁が実施しているスターウォッチングによるもので、輝北町と宮崎県小林市が選ばれました。

平成六年

- 2 「ばか踊り」の名称が「かのやハンヤ踊り」に変更

- 3 鹿屋商工会議所の新会館が完成

- 5 「エアーメモリアル40インかのや」開催

- 7 「県立大隅広域公園」一部開園

- 8 国鉄吾平駅跡に「吾平町鉄道資料館」開館

平成七年

- 4 太平洋戦争終戦50年並びに旧鹿屋航空基地特攻隊戦没者追悼式

- 5 かのやフラワーフェスタ'95

- 5 株式会社金子積算と立地協定を締結(吾平町)

- 5 春のバラ祭り

- 8 高原レストラン「きほく牧場」オープン

- 8 「輝北天球館」オープン

- 10 秋のバラ祭り

平成八年

- 7 「アクアゾーンくしら」オープン

平成十年

- 12 「湯遊ランドあいら・吾平物産館レストラン」つわぶき」オープン

平成十一年

- 4 「鹿屋市中心市街地活性化推進本部まちづくり推進室」開所

- 5 「鹿屋市中心市街地活性化推進協議会」発足

- 8 おおすみフェスタ'99

- 8 「北田大手町地区市街地再開発推進協議会」発足

- 9 株式会社井川産業と立地協定を締結

平成十二年

- 4 株式会社サクラクレパス鹿児島工場と立地協定を締結(吾平町)

- 5 仲町アーケード完成

- 7 かのや夏祭りに「曾の国の火祭り」登場

- 7 RH輝北プレスウッド株式会社と立地協定を締結(輝北町)

- 10 「オレンジパーク串良」オープン

平成十三年

- 11 株式会社シートックと立地協定を締結

平成十五年

- 1 「角野観光農園」開園(吾平町)

- 11 おおすみばらフェスタ

- 11 鹿屋のばら(新品種)の名称が「プリンセスかのや」に決定

平成十六年

- 3 「ばら」と「海」サンロードウォークinかのや

- 4 二式大型飛行艇引渡式

- 4 海上自衛隊鹿屋航空基地開隊50周年記念式典

- 6 「北田大手町地区市街地再開発事業計画」認可

- ⑤ 第15回ばら制定都市会議(ばらサミット)
- ④ 飯田機械株式会社と立地協定を締結
- ④ かのやばら園グランドオープン(8ha)
- ④ 平成十八年
- ⑫ 株式会社鹿島食品と立地協定を締結
- ⑫ 「鹿屋航空基地史料館」入館者100万人突破

- ⑥ 株式会社スリーベルと立地協定を締結
- ⑥ 平成十九年
- ① 大隅物流事業協同組合と立地協定を締結
- ③ 初代ローズクイーンかのや決定
- ④ 「リナシティかのや」オープン
- ④ 「鹿屋市産業支援センター」鹿屋市中小企業者福祉サービスセンター」開所



Interview

鹿屋本町一番商店街振興組合 理事長

久木田 弘 さん

くきた ひろむ



昭和53年に鹿屋に帰郷した頃から年々まちの衰退を感じるようになり、昭和60年に商店街の活性化に着手しました。平成2年から九州で初めてのスタンプカード事業を導入し、「KISSカード」という名称で16年間行いました。商店街の54店舗に協力をもらい、1ポイント2円と破格のサービスはお客さんに非常に好評で、商店街の活性化になったと思います。

その他イベントの企画も多数行い、イベントの名付け親には車のプレゼント、月1回の抽選会ではテーマパークやヨーロッパ旅行の提供など大盤振る舞いでした。

商店街活動での一番の思い出は平成14年にアーケードとビルの壁面の整備に取り組んだことです。特に資金集めには苦勞しましたが、国や県に協力をもらい、鹿児島県の特産である灰をよける庇(ひさし)という形で、全国初となるアーケードを整備することができました。

現在、日本では車社会が進み、技術でしか生き残れない時代がきています。駐車場がないから商店街や施設に人が集まらないのではないと思います。技術で生き残る商店街になっていくため、「自分で作って売る、教える、直す、加工する」といった匠の技術を磨き、商店街の魅力を発信し続けていきたいです。

- ⑧ 映画「チエスト」撮影開始
- ⑨ 鹿屋商工会議所創立60周年記念式典
- ⑩ 大隅湖レイクサイドフェスティバル
- 平成二十年
- ③ 映画「チエスト！」上映
- ④ 「かのや黒豚カレー」販売開始
- ⑤ リナシティかのやオープン1周年記念イベント
- ⑫ リナスタまつのなかフェスタ「クリスマス市民大パーティー」
- ⑦ 輝北天体フェスタ2009 inかのや
- ⑨ 「かのやまちなかの駅一番館」オープン
- ⑩ 「かのやばら園」の入館者50万人突破
- 平成二十二年
- ① 株式会社ハイパーソフトと立地協定を締結
- ③ 株式会社ミヤタシステムと立地協定を締結
- ③ 終戦記念日の集い
- ⑧ 株式会社アイティプラスと立地協定を締結
- ⑧ 元気な「かのや」プレミアム商品券発売開始
- ⑪ 平成二十三年
- ③ 第28回全国都市緑化かごしまフェア



平成 21 年 (2009 年)

くしら二十三や市

江戸時代後期に正月用品の物々交換の場として始まったとされる「くしら二十三や市」が開催され、植木や刃物、陶器などが販売され、大勢の買い物客でにぎわいました。



平成 17 年 (2005 年)

「ウォーターパール館」オープン

180本の噴水と5色のライトが使用され、丸い水の塊が上下に動いたりするなど幻想的な空間を楽しむことができる「ウォーターパール館」が吾平自然公園にオープンしました。

- 5 キャンドルナイトinかのやばら園
- 平成二十四年
- 1 イングリッシュユローズ寄贈式
- 2 かのやよかとこフェアin大阪
- 3 鹿屋バラ色商店街フェスティバル 2012
- 4 「かのや市商工会」開所
- 4 「イングリッシュユローズガーデン」オープン
- 5 大隅よかとこフェア(鹿児島中央駅)
- 8 株式会社ジェエフフーズと立地協定を締結
- 平成二十五年
- 3 第1回美里吾平元氣市
- 6 NHKのど自慢公開放送
- 8 「鹿屋航空基地史料館」入館者 150万人突破
- 9 かのやマルシェで特産品のPR(東京都)
- 11 プレミアム商品券発売開始
- 平成二十六年
- 4 山佐木材株式会社と立地協定を締結
- 4 海上自衛隊鹿屋航空基地開隊60周年記念式典
- 8 「かのや未来創造プログラム」平和の花束」初開催
- 11 「豚ばら丼」決起集会



平成27年 (2015年)

大隅湖レイクサイドフェスティバル

「大隅湖レイクサイドフェスティバル」が開催され、夜空を彩る大迫力のレーザー光線ショーと花火大会に、約5,000人の観客から割れんばかりの拍手と歓声が上がりました。



平成26年 (2005年)

テレビドラマ「永遠の0」の撮影

ベストセラー小説「永遠の0」のテレビドラマ撮影が、かのやばら園、鹿屋航空基地史料館、地下壕電信司令室跡、平和公園などで行われました。

Interview

「ダマスクの風 株式会社」代表取締役園長

門倉 美博 さん
かどくら よしひろ



かのやばら園の園長としてバラの栽培に長年携わってきました。平成元年頃から県立大隅広域公園やフラワーパークかごしま等の花を売りにした公園が相次いで整備される構想がありました。鹿屋市も生き残りをかけて集客に向け他の人が簡単に栽培できない目玉となるバラを選定し、かのやばら園の整備が進められる中、私は試行錯誤しながら栽培に取り組みました。

かのやばら園は平成5年にバラ500種類、6,300株で開園。その年の9月の台風で被害を受けましたが、被害は少なく秋には見事なバラがたくさん開花したことから、高台でも台風には耐えられるということがわかり、規模拡大に向けて一層尽力しました。また当時は全国で一番の品種数を誇り、多くの方々に来園していただきました。入園された方々は初めて見るバラに感動し、拍手と歓声を上げて満足していただいたことを覚えています。

かのやばら園を退職した後、40数年の花き栽培の経験と技術を生かして、平成23年にオーガニックで育てたフラワーガーデン「ダマスクの風」をオープンし、四季折々の花々の魅力を伝えています。花には人を和ませてくれる不思議な力があります。これからも四季を通じて楽しむことができる癒しの空間を提供していきたいです。

- 9 かのやばら園「夜空の映画館」
- 8 戦後70年特別企画展「鹿屋の記憶」
- 7 「博多カンパチジャック」開催
- 5 「かのやばら園」入園者100万人突破
- 4 「鹿屋平和学習ガイド・戦争遺跡調査員」認定
- 平成二十七年
- 12 株式会社サツマ超硬精密と立地協定を締結
- 11 桐谷健太さん、広末涼子さんによるばら記念植樹及びトークショー
- 11 テレビドラマ「永遠の0」の撮影

- 平成二十八年
- 1 市民協働ショップ「KITADA SARRUGA」オープン
- 11 かのや薔薇王子コンテスト初開催
- 9 「食と暮らしのマルクト@おおすみ」



- 1 かのや豚ばら井まつり
- 4 「横浜イングリッシュガーデン」との友好協定を締結
- 8 男性2人組人気ボーカルユニットの「C&K」に、かのやばら大使を委嘱
- 9 「鹿屋市鉄道記念館」リニューアルセレモニー
- 11 第8回全国井サミット in かのや
- 平成二十九年
- 4 霧島ヶ丘公園サイクリングコースオープン

- 7 「C&K」とのタイアップによるふるさと納税制度を活用したライブ
- 10 栃木県小山市と「小山市・鹿屋市C&K橋渡し交流による連携協定」締結
- 12 「吾平物産館」リニューアルオープン
- 平成三十年
- 2 鹿児島くみあい食品株式会社と立地協定を締結
- 6 有限会社鹿屋電子工業と立地協定を締結
- 7 「ユクサおおすすめ海の学校」オープン
- 7 鹿屋航空基地史料館25周年記念式典

Interview

農家民泊「元氣印菜園畑」代表

堀之内 節子 さん

ほりのうち せつこ



平成5年に参加した海外農村研修で「グリーンツーリズム」に出会いました。当時の日本は「とにかく働け」の時代。一方、欧州では休日は農村で日々の疲れを癒すのが主流で、まさに現在の日本を見ているようでした。その後、平成11年に参加した東京でのグリーンツーリズム専門養成講座で、ありのままの農村風景こそ財産、古いことは文化であることに気づかされ、牛小屋をリフォームしての民泊開業を決意しました。

平成17年から2年かけて準備を行い、平成19年1月に開業。始めた頃はそうでもありませんでしたが、徐々に民泊の利用者が増えてきたことで、地域の方からも応援してもらえるようになりました。現在では、修学旅行生、体験学習生、家族連れ、海外研修生など多くの人にご利用いただき、リピーターとなって野菜を購入してもらうなど継続した繋がりに発展しています。

都会に憧れ、田舎は不便で恥ずかしいと思い、地元の良さに気づいていない人が多いように感じています。ありのままの農村風景や3世代が一つ屋根の下で暮らす家族構成など、昔の日本の良さを再認識し、取り戻す時代がきていると思います。また日本産のものを育てて食べることへの誇りを持ち、地元で農業をする人が増えてほしいです。



平成 28 年 (2016 年)

「KITADA SARUGGA」オープン

おしゃれな雑貨や新鮮な野菜、こだわりのパンなどを販売する「KITADA SARUGGA」が北田町商店街にオープンしました。

- 7 「空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会」設立(兵庫県姫路市・加西市、大分県宇佐市、鹿屋市)
- 8 「株式会社おおすすめ観光未来会議」設立
- 10 鹿屋市鉄道記念館開館30周年記念事業
- 11 株式会社オアシススタイルウェアが「かのやカンパチロウ」に「ワークウェアスーツ」を贈呈
- 平成三十一年
- 3 「株式会社おおすすめ観光未来会議」が「日本版DMO」に正式登録
- 3 かのや100チャレが「2018年度ふるさと名品オブ・ザ・イヤール」部門で地方創生賞を受賞
- 4 かのやばら大使の「C&K」が串良平和アリーナでライブ



平成 30 年 (2018 年)

「神野中岳第1回山開き登山」開催

神野中岳(吾平富士)で「第1回山開き登山」が開催され、参加者は1年間の安全を祈願した後、さわやかな春の風を感じながら登山を楽しみました。